



景德鎮の keitokutin 磁器展

磁器の都、景德鎮の磁器展を岩茶房で

景德鎮窯が代表格になる北宋前期の陶磁器界。清涼感ある透明釉の色合いから、その白磁を青磁器と呼びます。

元朝時代には青花(染付)という画期的な磁器ができました。そして清朝時代には粉彩、豆彩などの絵画的な名品が生まれました。

去年のとこなめの茶器展に引き続き、今年は特別にオーダーした限定品の景德鎮の茶器をご紹介します。

劉宝順さんの最高峰の岩茶を、洗練された景德鎮の美しい茶器で愉しんでください。皆さまのお越しを心よりお待ちしております。

●チラシご持参・Facebook・Instagramをご覧になられた方に新茶の岩茶とお菓子のサービスを致します。

時 11月23日(木・祝)~25日(土)

11時~19時(最終日は18時迄)

場所 岩茶房

電話&FAX 03-3714-7425

メール info@gancha-bou.co.jp

